

祭當日、上野松坂屋の大ホールにて廣い社會層に斯學の通俗普及の一助をなさんご試みたこれは昨年も九月廿四日に講演部に依つて行はれ本年は第二回目である。幸ひ校友で先輩である東京府下谷區齒科醫師會會長の磯仙策氏や前東京府日齒校友會會長大久保重治氏、東京府日齒校友會會長原房吉氏も多大の好意を寄せられ更にクラブ齒磨口腔衛生部の榎本氏等も力を貸していただく事になり二十三日下谷區齒科醫師會及東京府日齒校友會の後援を得て午前と午後の二回に渡つて行ひ、非常なる盛會の裡に會を閉ぢ、口腔衛生普及の目的は大いに達せらるゝものがあつたご信するプログラム既報。(林記)

水泳部

九月十日 前日來の豪雨も止んで十日醫齒藥水泳リーグ戦は秋空高く溢める川崎プールに於て舉行さる。

この日部員一同早朝起床、身を淨めてまづ戦勝を誓ふ。青天の下われらの氣慨戦前すでに敵を呑む好漢よく自重して優勝、榮をになひ得るや、勢揃ひして試合に臨む、當日の豫選通過者次の如し。

四百米自由型 小西、尙島、200米同龜田、福田二百米胸泳 渡邊、堂、五十米自由型 前田鈴木、根津、百米背泳、池内、龜田、百米自由型 福田、前田、大塚、五十米背泳 池内百米胸泳 渡邊、八百米自由型 小西、尙島かくて幸先よきスタートをきれる我が部も決勝を翌日に控へて何たる不幸ぞ、闘將前田腹痛を病み再び立つ能はず、加ふるに老巧福田發熱して明日の出場を危ぶまる。短距離界に於てリーグに冠たるわが部も重れ重れの災厄

に啞然、果然今日たゞ中距離の雄キャプテン龜田の存在を頼み長距離に於て例へ一點なりさも多く加へんご悲壯の氣を以て決勝に望まんごする、明くれば十一日昨日の陽氣に比して朝來の秋雨、われらの不幸を悼むが如し。

かくてわれら生根のあらんかぎり盡して戦ひしご雖も短距離の二雄の不出場は直ちに三種目のリレーに大いなる痛手を與へ、五十百米は豫想得點のに足らずために出場選手に精神的打撃を與ふるご甚しく、嗚呼！部員十日餘に亘る血の出る如き合宿練習も之に報ゆるに悲慘、敗戦の二字を以てす、血涙をしぼりて部長永田先生の前に頭をさぐるごきつくづく思ひぬ、實に於て優るご雖も量に於ておさるための敗戦ぞご、あゝ、好漢出でゝ母校のために氣を吐かんか！。

諸兄の御勢援を謝す。(東條記)

馬術部

七月九日 神樂坂白十字にて午後六時より部員會を開催す。夏期練習に就て協議す。互に健康を約し九時盛會裡に散會す。

七月廿七日——八月四日 毎日午前六時より士官學校夏期練習に次の三名出席す。杉田君、石川君、宮澤君。

七月卅一日 習志野合宿の爲午前七時日暮里を出發す、一同元氣旺盛に來るべき關東乗馬主催の爭覇戦に必勝の意氣を以て練習を開始す、合宿者氏名次の如し。久野君、糊澤君中家君、南君、井上豐君。

八月五日 日々の猛練習にも拘らず物ごもせず一同至極元氣新進井上豐君の躍進目覺しきものあり一同無事合宿を引き上ぐ。